

令和 4 年 2 月 10 日時点

(1) 事務事業の概要		
① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	・小学校3年生から6年生までを対象に、平日は、市内15校で万華鏡、キーホルダー等の教室を開催。土日は、子ども英会話教室、子ども囲碁教室、ものづくり教室、料理教室を開催する。(教材費は参加者負担) ・講座を通して親子のふれあいや地域の方々との交流を深め、学校・家庭・地域で協力し合い、子どもたちの教育環境を充実させる。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
地域の大人の協力を得て、学校等を活用し、子供たちの活動拠点(居場所)を確保し、放課後や週末等における様々な体験活動や地域住民との交流活動を支援する。	少子化や家庭環境の変化、地域の教育力の低下等、子どもたちを取り巻く社会的環境の変化が著しいため、学校、家庭・地域が連携を図り、教育環境を充実させる必要がある。	子どもたちが安全に安心して過ごせる子どもたちの居場所づくりや、他校児童や異学年間の交流を通じて、楽しく学びながら豊かな人間性やコミュニケーション能力の育成を望む声がある。

		単位	29年度 (決算)	30年度 (決算)	1年度 (決算)	2年度 (決算)	3年度 (予算)	
事業費	費目内訳	1. 報奨金	千円	551	499	347	237	393
		2. 公演委託料等	千円	1,469	1,522	1,527	72	1,547
		3. 諸借上料	千円	192	91	168		220
			千円					
			千円					
	事業費計 (A)		千円	2,212	2,112	2,042	309	2,160
	財源	1. 国庫支出金	千円					
		2. 都道府県支出金	千円					
		3. 地方債	千円					
		4. その他	千円					1,320
5. 一般財源		千円	2,212	2,112	2,042	309	840	

従事職員数	常時	4人	最大	6人	×	15日	=	延べ	90人
-------	----	----	----	----	---	-----	---	----	-----

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (計画)	
	2年度実績(2年度に行った主な活動)	ア	地域子ども教室の開催回数	回	37	42	36	36	46
	① 地域子ども教室は平日放課後にキーホルダー・アクアキャッチャー、ポップアートカードづくりの教室を開催。子ども囲碁教室及び子ども英会話教室は土曜日に開催した。	イ	地域子ども教室子ども向け講座の開催回数	回	69	78	92	8	8
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (計画)	
	対象 旭市内の子ども(小学校3年生～6年生) ※囲碁教室のみ2年生～6年生	ア	地域子ども教室への参加人数(延べ人数)	人	763	872	784	615	750
	意図 充実した放課後を過ごし、異学年交流を通じて人間性・社会性を育む。	イ	地域子ども教室子ども向け講座への参加人数(延べ人数)	人	3,409	3,006	2,724	250	600
	対象 旭市内の未就学児・小学生								
	意図 親子のふれあい・地域間交流								

①成果優先度評価結果			成果向上余地		
			かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい			②	
	普通				
	小さい				

Figure 1: Number of people attending the 'H29年度後援者説明会' (H29 Fiscal Year Sponsor Briefing Meeting).

Year	Series A (Number of people)	Series I (Number of people)
H29	~750	~3,200
H30	~850	~2,800
R1	~780	~2,500
R2	~620	~500
R3 (forecast)	~750	-

評価内容	☐ 進捗状況 ☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難																																				
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)																																				
	② 成果の状況 <table border="1"> <tr> <td>成果指標ア</td> <td>成果指標イ</td> <td>数値増＝成果向上</td> <td>☐ 向上</td> <td>☐ 横ばい</td> <td>☒ 低下</td> <td rowspan="2">比較</td> <td>28年度</td> <td>29年度</td> <td>30年度</td> <td>1年度</td> <td>2年度</td> </tr> <tr> <td>成果指標イ</td> <td>成果指標イのタイプ</td> <td>数値増＝成果向上</td> <td>☐ 向上</td> <td>☐ 横ばい</td> <td>☒ 低下</td> <td>29年度</td> <td>30年度</td> <td>1年度</td> <td>2年度</td> <td>3計画</td> </tr> </table>														成果指標ア	成果指標イ	数値増＝成果向上	☐ 向上	☐ 横ばい	☒ 低下	比較	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度	成果指標イ	成果指標イのタイプ	数値増＝成果向上	☐ 向上	☐ 横ばい	☒ 低下	29年度	30年度	1年度	2年度	3計画
	成果指標ア	成果指標イ	数値増＝成果向上	☐ 向上	☐ 横ばい	☒ 低下	比較	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度																									
	成果指標イ	成果指標イのタイプ	数値増＝成果向上	☐ 向上	☐ 横ばい	☒ 低下		29年度	30年度	1年度	2年度	3計画																									
【コメント】 (低下の場合、その理由)																																					
コロナウィルス感染拡大に伴い中止又は実施回数が減ったため。																																					
評価内容	③ 今年度取組事項 (3年度に取り組む主な事項について記載) <table border="1"> <tr> <td>時期</td> <td>内容</td> <td rowspan="2">今後の方向性</td> <td> ☐ 拡大 ☐ 縮小 </td> <td> ☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止 </td> <td> ☐ 見直し ☐ その他() </td> </tr> <tr> <td>R3. 5月～</td> <td>コロナウィルス感染予防対策を十分行った上で事業を実施する。</td> <td></td> <td>コロナ対策を実施しながら、なるべく中止となる回数が少なく済むよう講座を継続して実施。</td> </tr> </table>														時期	内容	今後の方向性	☐ 拡大 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止	☐ 見直し ☐ その他()	R3. 5月～	コロナウィルス感染予防対策を十分行った上で事業を実施する。		コロナ対策を実施しながら、なるべく中止となる回数が少なく済むよう講座を継続して実施。													
	時期	内容	今後の方向性	☐ 拡大 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止	☐ 見直し ☐ その他()																															
R3. 5月～	コロナウィルス感染予防対策を十分行った上で事業を実施する。			コロナ対策を実施しながら、なるべく中止となる回数が少なく済むよう講座を継続して実施。																																	